

「講堂での馬城会入会式」 ～ 新会員 155 名 ～

令和3年2月26日（金）11時45分から馬城会入会式が、懐かしい「講堂」で行われた。

例年第一体育館で行われてきたが、今月13日夜、この地方を突然襲った震度6強の地震のため、第一、第二体育館がともに損傷を受け、使用できなくなったためである。

新型コロナの影響で、入会式での校歌斉唱は昨年に引続き割愛された。残念であるが仕方がない。入会式に参加したかつての若駒会員は、例年より数名少ない4名のみであった。



開式のことば

佐々木政喜氏（副会長・相馬支部長）



記念品贈呈 & 新会員代表謝辞

新会員代表 鈴木章悟くんの謝辞

力強い声で「……将来、地元に戻って僧侶になります」との自分の将来の決意を含めた素晴らしい謝辞であった。校長先生によれば、彼は、野球部員として活躍し、バレ一部の助っ人としても引張り出された。抜群の運動能力を持つという。頼もしい若駒である。

馬城会の未来は明るいと確信した。



オリエンテーション

佐藤史生氏（相馬支部副支部長）

会員相互の親睦を図るなど会の目的、かつて北アメリカ馬城会もあったことなど現在の各支部の紹介、馬城会館についてのエピソード、120周年記念事業など母校の発展に寄与している例など馬城会の事業を解り易く説明して頂いた。



閉式のことば

荒井正光氏（相馬支部副支部長）



間隔をとって整然と並ぶ新馬城会員達